1　国語

学校番号	１０８

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	年次	3
使用教科書	国語表現　（大修館書店　出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ

・３年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を更に発展させることを心がけましょう。
・文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・正しく情報を伝達するために語彙力や文法の知識や、ＩＣＴ機器を有効に利用してください。
・提出物の期限は守りましょう。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）		行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	書いて伝える	教材: 「整った文を書く礎」 「わかりやすい文を書く」 「文のつなぎ方」 「絵や写真を見て書く」	○		◎			a:何のために、誰に向かって、どのような条件で書くのかを考えようとしている。 c:適切な文章を書くための方法を学んでいるか。	a、c、: 行動の観察と確認。 プリント等提出
	小論文・レポート入門	教材: 「小論文とは何か」 「反論を想定して書く」 「資料を読み取って書く」 「発想を広げて書く」 「レポートを書く」 「論文を書くために」	○		◎			a:考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 c:論理を展開していくことができる、適切な表現になっているか。	a:行動の観察及び記述の点検 c:レポート提出
2学期	声とコミュニケーション	教材: 「リーダーズシアターを開こう」 「プレゼンテーションの工夫」	○	◎			○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 ＩＣＴ機器を使いこなしているか。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認 発表
3学期	自分を見つめて	教材: 「自分史の作成」	○		◎		○	a:自分の人生をふりかえり、そこからこれからの人生へのヒントを得られているか。 c:様々な人の考えも踏まえて、自分の人生を説明したり、相対化したりして書いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 行動の観察と確認 及び分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。